

家族が集う 縁側のある平屋の魅力

家の価値観が変わりつつある今、「小さく心地いい家」「長く愛される普遍的な家」が注目されています。このニーズに応えるのが、長年地域に密着した家づくりを行ってきた窪田建設のオリジナルブランド「縁側家族」です。「縁側家族」は「家は平屋から考える」をコンセプトに自社開発した規格住宅で、シニア層にも配慮した「心地よい時間と空間」を提案します。特に人気の「平屋日和」は、屋根付きの縁側と国産無垢材が特徴。内外をつなぐ縁側が開放的な空間を実現し、心地いい木のぬくもりで家中が満たされます。また面積の有効活用により、コンパクトながら経済性、快適性、高品質を達成。その設計力からは同社の思想や知見、技術力の高さがうかがえます。「平屋日和」は、家の既成概念に二石を投じる新たなメッセージでもあります。実際に「平屋日和」を建てられた方のお宅をご紹介します。



A_ 縦張りのスギ板を外壁の一部に施した、和の趣を感じさせる端正な外観。縁側の縦格子は見た目のデザイン性を高めるだけでなく、目透かしにすることで、内側の空間に抜け感と広がりを与え、外部からの視線を程よく遮るという機能的な役目も果たしている。

B・D・E_ オーナー希望の軒を深くした屋根付き縁側は天候に左右されにくく、扉の開け閉めによってリビングの延長のようにも、外とつながるウッドデッキのようにも使える。さらに軒裏に用いた赤松材が、この空間をより心地よく上質なものにしている。

C_ つくり込まれた味わい深い和風の庭は、旧宅の趣そのままに引き継いだ。家族の歴史を思わせる庭木が、平屋の佇まいに美しく調和する。

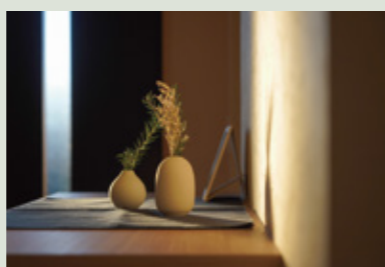




H_大黒柱や琉球畳、網代天井など、コンパクトながら本格的な造りの和室には、床の間と仏壇スペースまで設けられている。床の間上部の小壁には、オーナーのたつての願いで、旧宅の欄間を再利用して組み込んだ。家族の思い出が、新たな住まいに温かな彩りを添える。

I_壁紙にこだわった書斎は、造作のデスクや棚でコーディネート。スッキリと統一感のある家具は使い勝手がよく、空間を広々と見せてくれる効果も。オリジナル規格住宅ながら、アレンジや造作家具のオーダーにも応えられるのは、腕の良い職人を抱える同社ならではの強みだ。

J_スペースを最大限に活用した、取り出しやすく、しまいやすいサニタリー収納。洗濯物をたたむスペースにもなるフラップ式の扉やタオルバーなど、こんな機能が欲しかった!というアイデアがぎゅっと凝縮。



F_G_木部と白壁のバランスが美しい、リビングとダイニングキッチン。赤松の羽目板をあしらったリビングの勾配天井が、空間に自然素材ならではの落ち着きと高級感をもたらしている。リビングを中心にどこにでもアクセスできるよう計算された設計は、限られた空間に面積以上の広がりをもたらすとともに、暮らしやすさをサポート。お気に入りのオーディオ機器を取めたオーダー家具も空間に美しく調和している。



記憶を未来へつなぐ シンプルモダンの平屋

「海外や東京などで長く暮らしてこられたオーナーのSさん。仕事がひと段落したのをきっかけに、実家の建て替えを考え始めました。」

窪田建設を知ったのは、同社の発信する動画を見て。当初の候補5社から3社に絞り、最終的に選んだのが窪田建設のオリジナル規格住宅「平屋日和」でした。

「本物の木を使った家にしたかったのと、平屋の建築実績が豊富だったので。それと営業さんの人柄の良さにも惹かれました」と、同社をパートナーに選んだ理由をこう振り返ります。

Sさんが理想としたのは、「ゆったりとした空間で、好きな音楽や読書を心ゆくまで楽しめる家」。その願いどおり、新たに完成した住まいは、たっぷり使った木とヘーシユ系の壁とがバランスよく調和した、美しく清々しい、広々とした空間となっています。床にヒノキ、天井にアカマツの羽目板を用いたリビングには、本物の木だけが醸し出す上質感とぬくもりが漂います。

Sさんが選んだオリジナル規格住宅の平屋日和は、「家は平屋から考える」をコンセプトとした「縁側家族」シリーズの平屋商品。「過性の流行ではなく、いつの時代にも色褪せないデザインと、上質な自然素材を多用した空間は、コンパクトな中にも普遍的な美

しさと暮らしやすさが共存します。さらに、限りある面積を最大限に活用した間取り、考え抜かれた簡潔な動線や適所適量の収納が家事の負担を軽減し、忙しい毎日に心と時間のゆとりをもたらしてくれます。

この家を建てるにあたりSさんが特にこだわったのが、オーディオの配置。ソファの目の前に並ぶオーディオ機器は、理想の音響を追求するSさんが特注したオーダー家具に収められています。ゆったりとしたソファに深々と腰を下ろし、家の中を漂っていく旋律に耳を傾けるSさんの姿が思い浮かぶようです。

そしてSさんのもう一つのこだわりが、旧宅の欄間を用いることでした。家族の思い出が色濃く残る和室の欄間を大切に保存し、新しい床の間の小壁の代わりに組み込んでもらったのだそう。それは家族の歴史と記憶が、新たな命として未来に引き継がれた瞬間でもありました。

このほかにも、美しい陰影を生み出す照明計画、リビングを中心とした回遊動線、扉を開け放てば外との一体感が味わえる屋根付き縁側、ヒノキの床やシンプルで統一感のある造作家具など、S邸には便利で快適に暮らせる工夫が随所に散りばめられています。

「この家に引っ越してからは、自分だけの時間をゆつくり味わえるようになりましたね」とSさん。平屋日和で本当に豊かな暮らしを手に入れたようです。

生活空間を1階に集約した、平屋のように暮らせる2階建て。主寝室を1階にしたので年齢を重ねても安心して暮らせます。吹き抜けに面した小屋裏は子供部屋や趣味部屋などとして活用でき、暮らしに広がり遊び心を添えます。木視率の高い空間では、木のぬくもりを感じながら、心地よく過ごせます。機能的かつ快適でありながら、自然素材の質感と開放感を大切にフレキシブルな住まいです。

平屋 + 小屋裏



PICK UP STYLE
03

え？平屋なのに
2階建て？
家族で住める小屋裏の家

PIECEは、3坪(約10㎡)から考えるユニット型のタイニーハウス。小屋や離れのように単体で使ったり、複数のユニットを連結して住居やオフィスとして使うことができるため、ライフスタイルやニーズに応じて、住む・使うを選べます。宿泊施設としての運用実績もあり、その居住性と利便性が高く評価されています。アイデア次第でビジネスユースへの展開など、無限の可能性を秘めたタイニーハウスです。

多様性タイニーハウス



PICK UP STYLE
02

たった3坪？いいえ、
未來的可能性を広げる
3坪です

HIRAYA & TINY HOUSE

なぜ今、「平屋」と「小さな家」が選ばれているの？

— 注目の4商品の特長から、人気の秘密を探る —

近年、平屋や小さな家が人気です。背景には、少ないコストで建てられること、エネルギー効率が良いため家計や地球環境に優しいこと、シンプルなライフスタイルを好む人や少人数世帯が増えていることなどが挙げられます。特に階段のないコンパクトな住まいは、老後の生活やバリアフリーにも最適で、自然との一体感を感じながら心地よく過ごせる点が魅力。さらに、シンプルで無駄のない空間は、家事や移動をラクにし、資産価値を保ちやすいという利点もあります。平屋や小さな家を選ぶことは、将来も不安なく暮らせる安心感と経済性を兼ね備えた賢い選択と言えるでしょう。こうしたニーズを踏まえ、誰もがより豊かな人生を送れるようにと開発されたのが、「縁側家族」と「YOROKOBI」です。その人気の秘密を探っていきましょう。



THE フラットハウス
LEVEL

シンプルで一切のムダがない平屋。1LDK~4LDKのパターンをベースプランとして、厳選した仕様で完全規格化。必要な機能が凝縮されているので、すぐに家を建てたい人にもお勧めです。小さいからこそそのメリットを最大限に生かし、コストと時間の浪費をなくすことで、シンプルで効率的な暮らしを実現します。

PICK UP STYLE
04

ムダはぜんぶ捨てた。
さあ、空いた時間とお金でなにをする？



定番の平屋ですが、ベースプランをカスタマイズすることで理想の住まいが実現できます。屋根付き縁側では、四季折々の自然を感じながらリラックスした時間を過ごせます。無垢の木材を多用しているため、木のぬくもりに包まれて健康的に暮らせます。家の中心にはLDKを配置。家族が集まりやすい環境をつくることで自然なコミュニケーションが促され、家族の絆が深まります。心地よさと機能性を兼ね備えた平屋が暮らしをより豊かにしてくれます。

PICK UP STYLE
01

このコンパクトさで、この開放感！
庭までリビングにしちゃう家

平屋の定番



窪田建設株式会社
〒386-1213 長野県上田市古安普1116
TEL: 0268-38-3050 FAX: 0268-38-8099



ホームページ



YouTube



窪田建設の小さな家
平屋に共感した方は
ぜひご覧ください！

平屋特設サイトはこちらから →

